

平成 3 0 年 3 月 2 0 日

喜多方市議会議長 佐 藤 一 栄 殿

提出者 渡 部 一 樹

賛成者 遠 藤 吉 正

〃 田 中 和加子

〃 小 島 雄 一

〃 江 花 圭 司

〃 齋 藤 仁 一

〃 遠 藤 金 美

〃 大川原 謙 一

〃 山 口 和 男

議会案第 2 号 待機児童の解消及び保育士等の処遇改善のため
の財源確保を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

待機児童の解消及び保育士等の処遇改善のための財源確保
を求める意見書

平成２７年の子ども・子育て支援新制度実施以後も待機児童は増加している。国はこの解消を３年間先送りしたが、待機児童の解消を初めとした保育・子育て環境の整備は、喫緊の課題である。

今、必要なことは、市町村と連携した認可保育所の整備はもとより、給与水準の低さから不足している保育士の処遇改善、実態に合わない配置基準の改善による「保育の質」の確保など、総合的な対策を進めることである。

よって、本市議会は、国及び政府関係機関に対し、下記事項について強く要望する。

記

- 1 待機児童を解消し、地域の子ども・子育て支援を拡充するために国として認可保育所の整備計画を立て、必要な財源の確保をすること。
- 2 保育士等の職員の配置基準の改善、賃金の引上げなど処遇改善のために必要な財源の確保をすること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成３０年３月２０日

喜多方市議会議長 佐 藤 一 栄

【意見書提出先】

衆議院議長	大森	理森	殿
参議院議長	伊達	忠一	殿
内閣総理大臣	安倍	晋三	殿
財務大臣	麻生	太郎	殿
厚生労働大臣	加藤	勝信	殿
文部科学大臣	林	芳正	殿
少子化対策担当大臣	松山	政司	殿
内閣官房長官	菅	義偉	殿